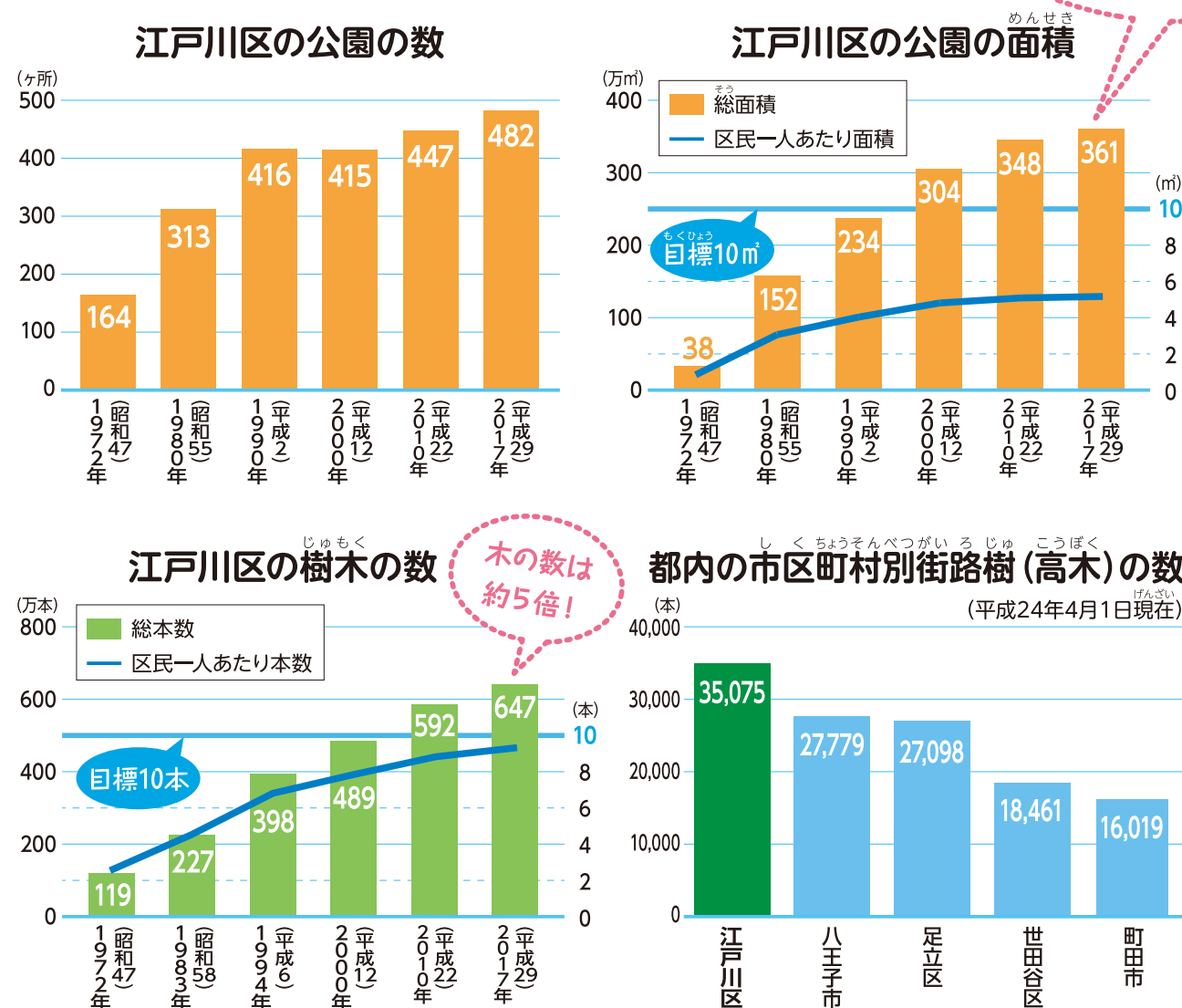


3. みどりのまち江戸川区の今

区民と区が積極的に緑化運動を進めてきた結果、
今の江戸川区は、こんなにも花とみどりが増えました。

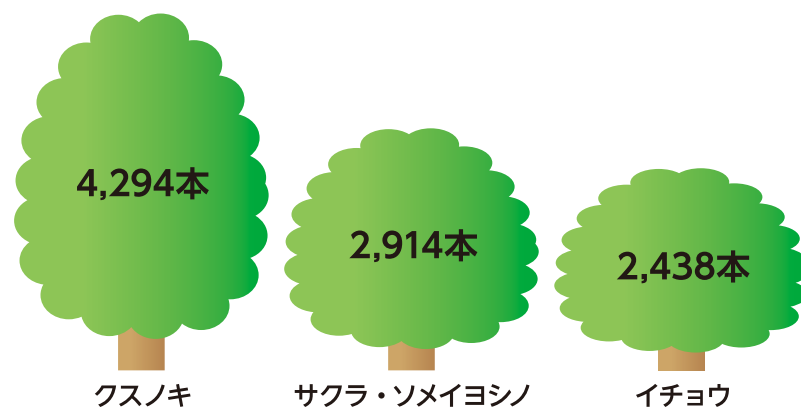
みどりのまちづくりの成果



江戸川区の街路樹(高木)の種類と数 (平成29年4月1日現在)

その他にケヤキ、ハナミズキ、マテバシイなど、約170種類の街路樹が植えられています。

※高木とは高さ3m以上の樹木です。



花とともに暮らすまち

夏の風物詩として
有名な入谷の朝顔市も
約7割が江戸川区産です。

花のまち・鹿骨

東京の春の花暦は、鹿骨の花から始まるといわれるほど、江戸川区の花弁栽培は有名です。

鹿骨で生産される花は、鉢ものが多く、伝統ある栽培技術を受けつぎ、ていねいに育てるため、丈夫で高品質だといわれています。



▲花の祭典



▲アサガオの栽培

毎年ゴールデンウィークには、花のまち鹿骨を象徴するイベントとして、「花の祭典」(会場：篠崎公園鹿骨スポーツ広場)が開催されます。区内で生産された花や野菜の販売、花職人による色鮮やかな花のアレンジコンペや青空園芸講座など、さまざまな花のイベントで、区内外からの大勢の方を楽しませています。

花のまち鹿骨を象徴するイベントとして、「花の祭典」(会場：篠崎公園鹿骨スポーツ広場)が開催されます。区内で生産された花や野菜の販売、花職人による色鮮やかな花のアレンジコンペや青空園芸講座など、さまざまな花のイベントで、区内外からの大勢の方を楽しませています。

小岩フラワーロード・花壇コンクール

花壇コンクールは1975年(昭和50年)から、地元の商店会とともに開催しています。

当初は、花卉園芸組合などの専門業者がデザインや技術を競いました。今は地元の商店会、町・自治会、小中学校なども参加し、商店街を訪れる人の目を楽しませる春のイベントとなっています。

このフラワーロードには、約200ヶ所の花壇があり、一年を通し、季節の花で彩られています。



▲小岩フラワーロード花壇(小岩駅南口)

豆知識

江戸川区の小松菜

- 作付面積 1万5,320ha
東京都内1位(都全体の1/3)
- 収穫量 2,859t
東京都内1位(都全体の1/3)

小松菜発祥の地・江戸川区

八代将軍吉宗公は鷹狩が好きで小松川村(江戸川区)にもたびたびきていました。ある日、昼食時に何も料理するものがなく、地元でとれた菜っ葉を入れたすまし汁をだしたところ、たいへんおいしいと喜び、この菜っ葉に名がないことを知った吉宗公が、地名から「小松菜」と名付けたのが始まりです。

名づけ親は
徳川吉宗公